

# 溶接技能者評価試験申込書

[ISO 9606-1 国際資格]

一般社団法人 日本溶接協会  
溶接技能者認証委員会 殿

受付番号	*
受験番号	*
試験コード	*

(写真全面貼付)  
最近6ヶ月以内に無帽  
上三分身で撮影したもの。

**写真のサイズ**  
(縦 4.5cm×横 3.5cm)  
パスポート用

証明書の写真になるので、  
上記サイズを厳守すること。  
なお写真は、必ずこの  
枠内に合わせて貼ること。

下記のとおり、ISO 9606-1に基づく技能者評価試験の受験を申込みます。

(注) 受験者氏名欄は本人が署名・捺印下さい。

下段の誓約事項及び別紙「記入上の注意事項」をよく読んでから記入して下さい。

\*印欄は記入しないで下さい。記入内容に誤りがあった場合には、適格性証明書を発行できないことがあります。

区分	1. 新規		2. 再評価 現登録番号:										通知先		1. 自宅		2. 勤務先		
受験者	フリガナ												捺印	性別	1. 男性		2. 女性		
	氏名	(姓)	(名)										Ⓜ	生年月日	西暦		年 月 日生		
	ローマ字													出生地	都・道・府・県				
自宅	郵便番号															電話番号			
	フリガナ																		
勤務先	フリガナ													勤務先コード	*				
	名称																		
	英文表記																		
	部署名																		
	郵便番号															電話番号			
	フリガナ																		
	所在地																		
業種区分 (別紙参照)	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15 ( )				
受験種目	WPS/pWPS 番号							板の立向 (V) 管 (P, Z)	1. 上進溶接	2. 下進溶接	追加 すみ肉試験	1. 要	2. 不要						
	(注) WPS番号は、日本溶接協会のホームページ ( <a href="http://www.jwes.or.jp/">http://www.jwes.or.jp/</a> ) から受験する種目に該当する WPS 番号をご記入下さい。 (注) 板の立向 (V)、管 (P, Z) の pWPS を選択した場合は、上進溶接か下進溶接を選択して下さい。試験では、上進溶接を選択したときは上進溶接のみ、下進溶接を選択したときは下進溶接のみでの溶接となります。 (注) 選択した pWPS と同じ溶接材料で追加「すみ肉」試験を同時に受験できます。組合せ溶接受験の際はすみ肉溶接の溶接方法を選択し、対応するすみ肉溶接の WPS 番号も記入願います。詳細は別紙「記入上の注意事項」を参照願います。ただし、別途受験料等が必要です。																		
使用溶接材料	溶接方法		銘柄		規格の種類		(コード)		サイズ		シールドガスの種別								
	①						*			1. アルゴン・2. 炭酸ガス 3. 混合ガス・4. なし									
	②						*			1. アルゴン・2. 炭酸ガス 3. 混合ガス・4. なし									
(注) ①に、溶接方法、使用する溶加材 (溶接棒、溶接ワイヤ、溶加棒) の銘柄と規格の種類、サイズ (径) を記入して下さい。 初層と残層とをサイズの異なる溶加材を選択する場合や組合せ溶接で2種類の溶接方法を選択する場合には、①と②にそれぞれ溶接方法、使用する溶加材の銘柄と規格の種類、サイズ (径) を記入して下さい。																			
アーク溶接特別教育修了証		1. 有	2. 無	(注) 受験資格：労働安全衛生規則に規定されている「アーク溶接機を用いて行う金属の溶接、溶断等の業務」に係る特別教育の修了証および「研削といしの取替え又は取替え時の試運転の業務」に係る特別教育の修了証を保有していること															
自由研削といし特別教育修了証		1. 有	2. 無																
溶接管理技術者またはそれに代わる者として上記申請内容を確認したことを証明します。				<b>評価試験の受験と資格認証登録に際しての誓約事項</b> 溶接技能者評価試験の受験及び合格後の資格認証にあたっては、下記に従うものとする。 (受験) 1. 不正行為は行わず、加担もしない。 (認証) 1. WES 8281 の関係条項に従う。 (注) 当該 WES は、一般社団法人日本溶接協会ホームページで閲覧できます。 ( <a href="http://www.jwes.or.jp/">http://www.jwes.or.jp/</a> ) 2. 職務の遂行に際して、社会規範、法令および関係規則を遵守する。 3. 認証に関する主張を行う場合は、認証された範囲に関するものだけとする。 4. 誤解を招きやすい方法で、適格性証明書を使用しない。 5. 認証の一時停止又は取消しとなった場合は、認証への言及を含むすべての主張を中止し、適格性証明書を一般社団法人日本溶接協会へ返却する。 6. 身体能力の低下等により、認証された技量を満足することに不安が生じた場合には、速やかに一般社団法人日本溶接協会へ申告する。															
年 月 日  所属 _____  氏名 _____ Ⓜ  証明書番号 _____																			
(注) 証明書番号は、ISO 14731/WES 8103 の認証者は、適格性証明書の番号を記入願います。それ以外の方は、番号記入の必要はありません。																			